

野生鳥獣被害対策と森林の保全

野生鳥獣による農林業・森林被害の状況

野生鳥獣被害対策の取組状況



- (1) 防除対策
- (2) 捕獲対策
- (3) 担い手対策

京都府 農林水産部 農村振興課 野生鳥獣担当 荒堀正生

令和元年9月

1

森林被害状況(人工林)

シカによる剥皮被害



京都市比叡山の府有林

シカによる植栽木食害



▶ 2

1

森林被害状況(天然林)



森林被害状況(天然林)



シカの忌避植物



イワヒメワラビ



ダンドボロギク



ジャケツイバラ

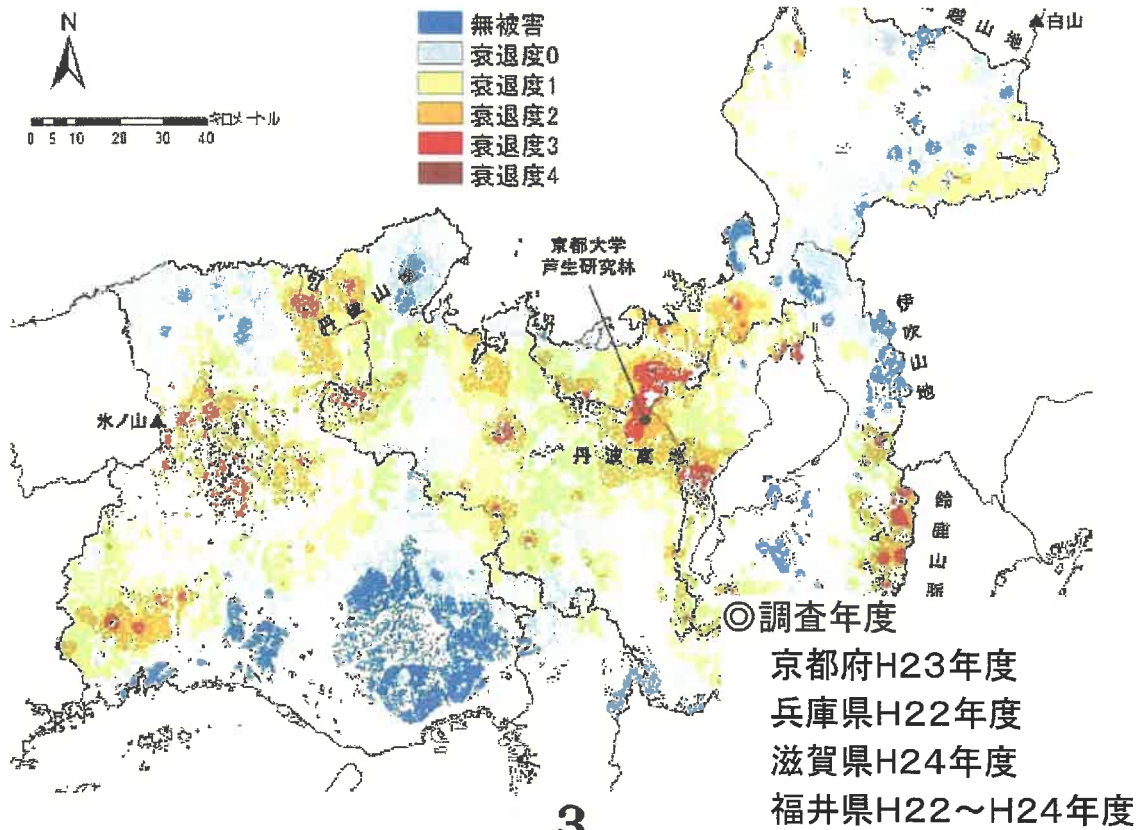


ミツマタ



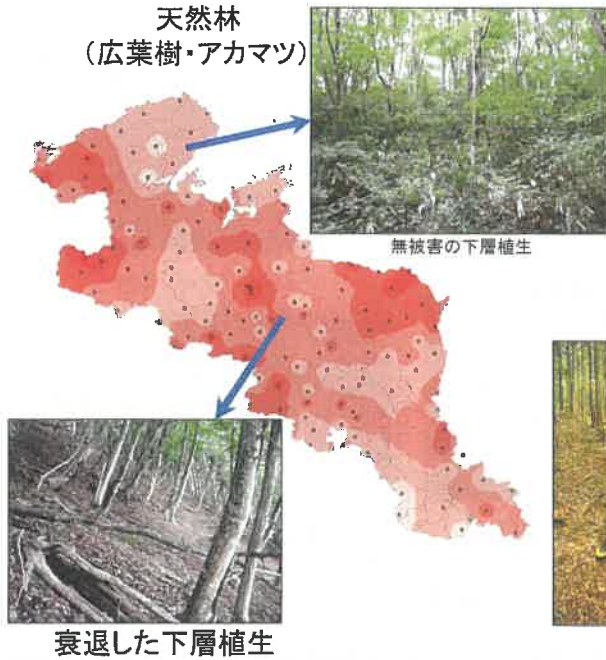
タイミンガサ

近隣府県の森林下層植生衰退度

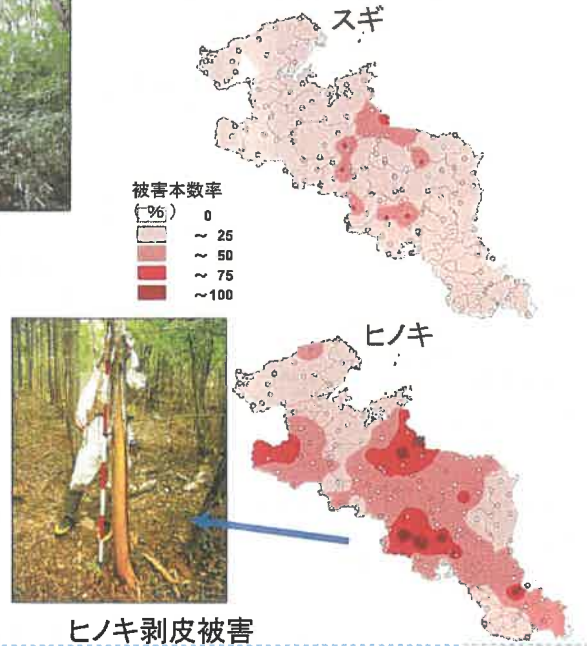


ニホンジカによる天然林の下層植生の衰退度 (H23) 人工林（成木）の被害分布調査

◆天然林下層植生衰退度の分布

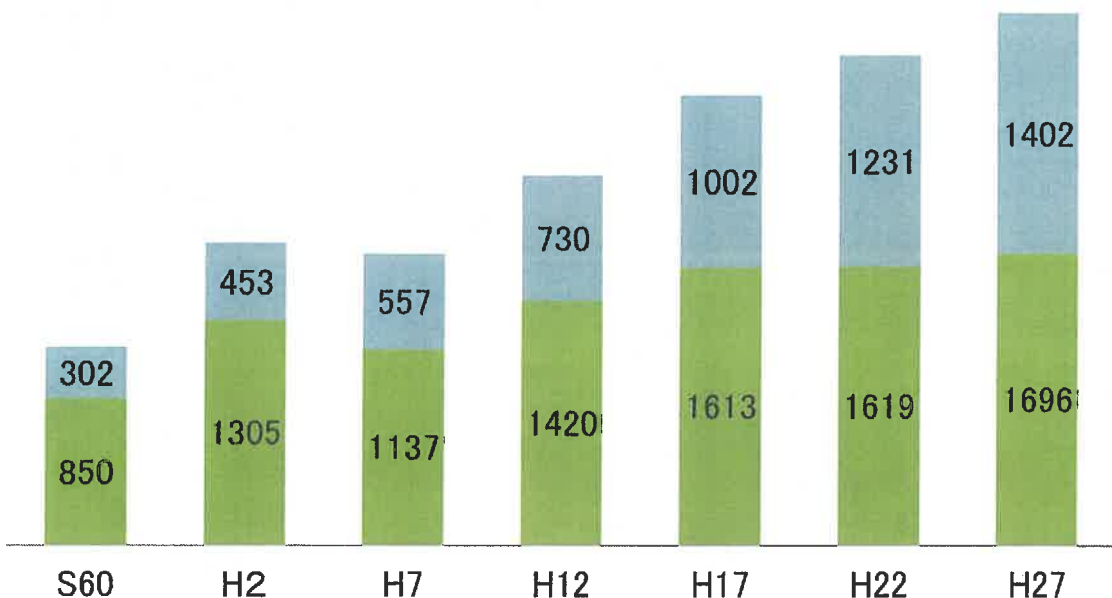


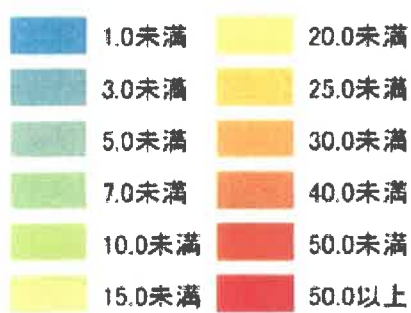
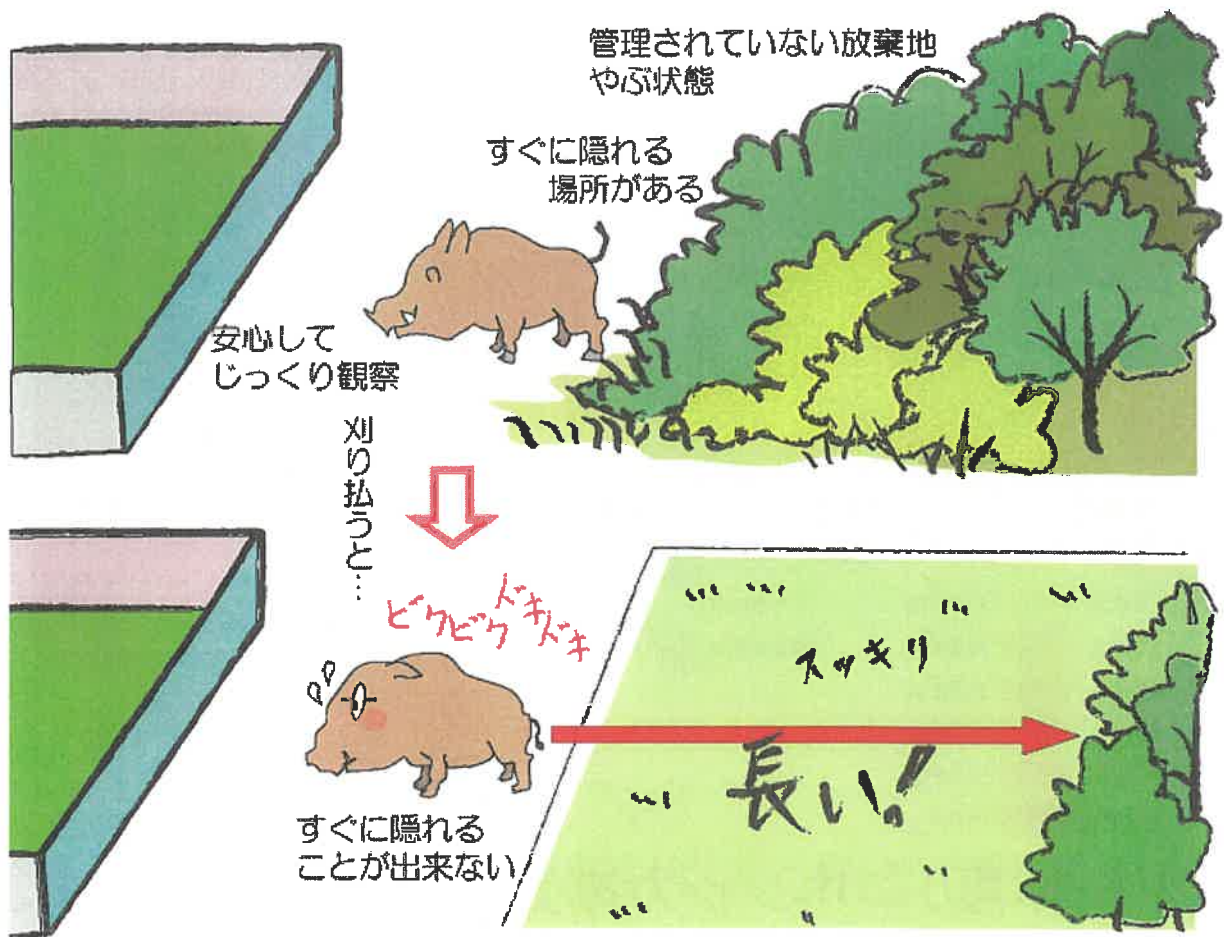
◆スギ・ヒノキ人工林(成木)被害の分布 (※成木の被害:角研ぎ、剥皮)



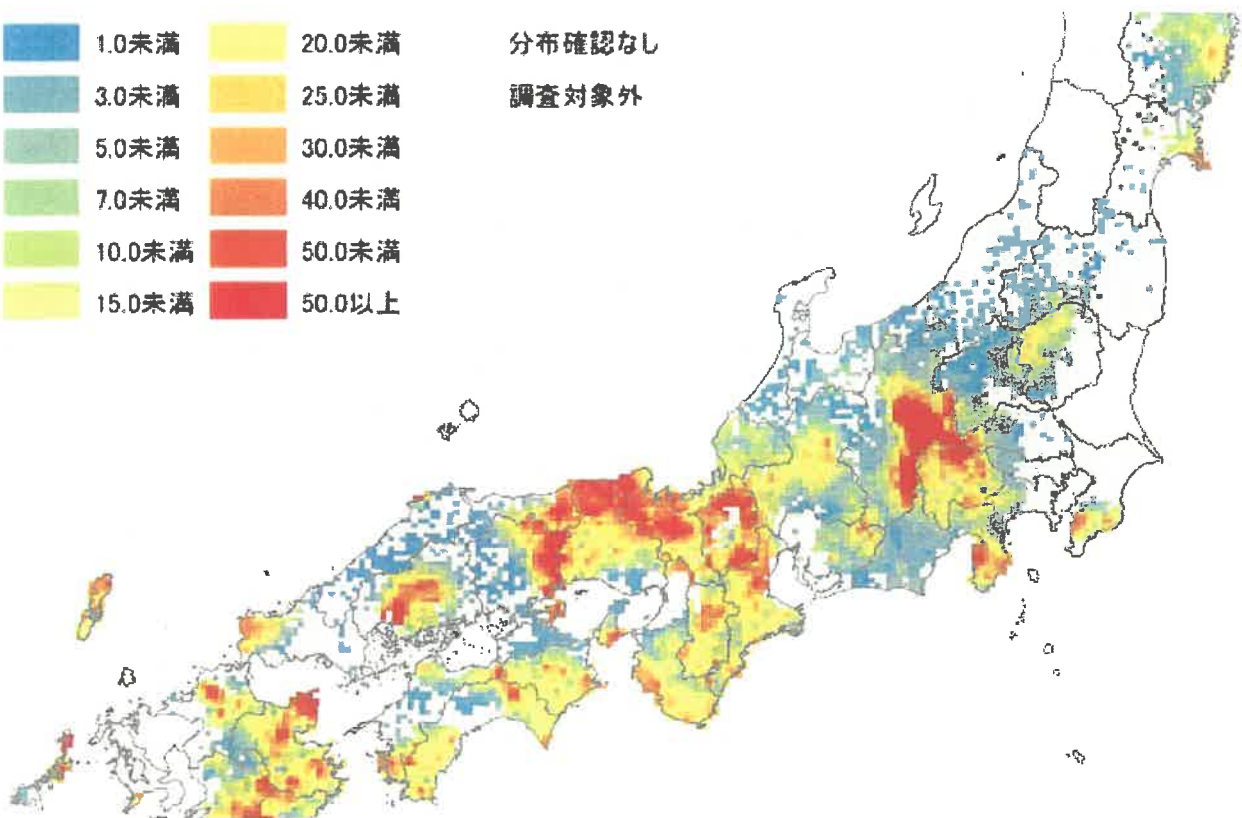
耕作放棄地面積の推移(京都府)

■ 農家(販売・自給的) ■ 土地持ち非農家



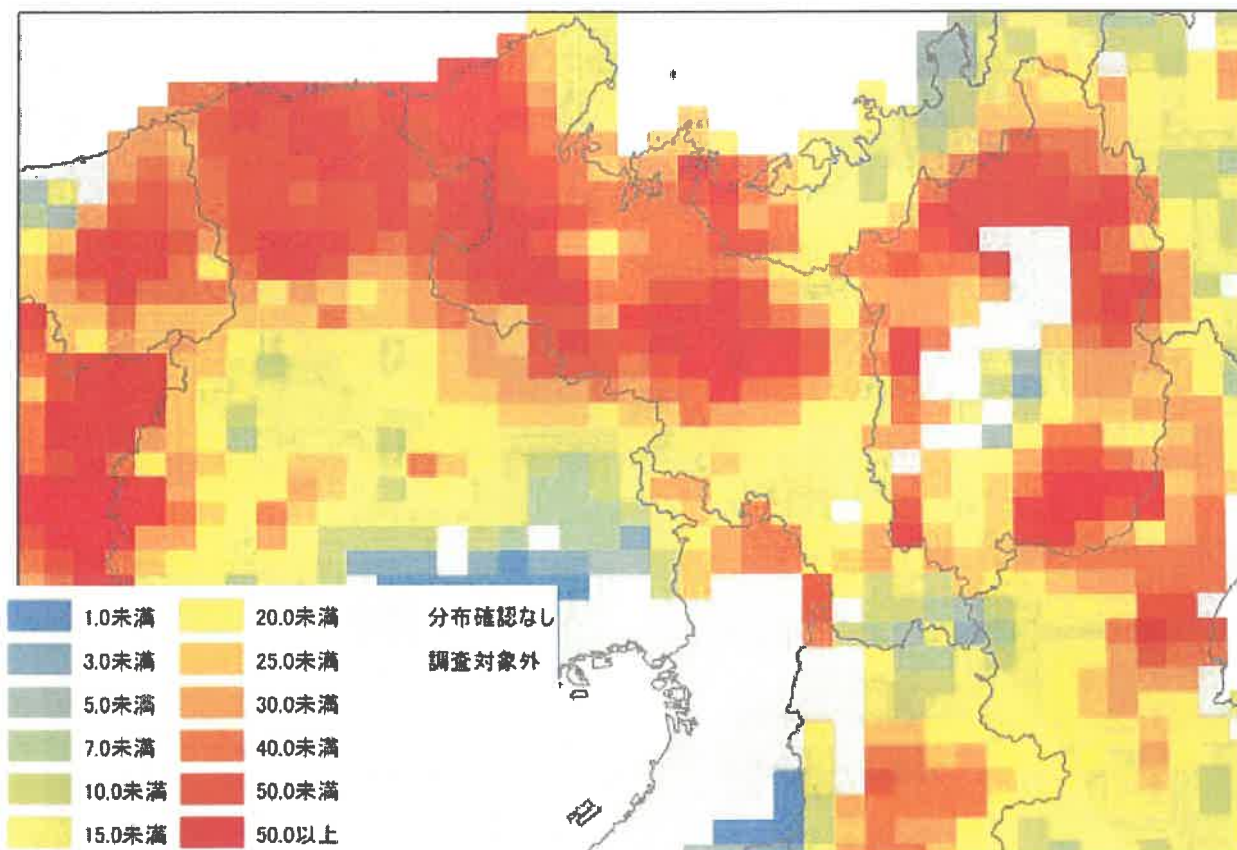


分布確認なし
調査対象外



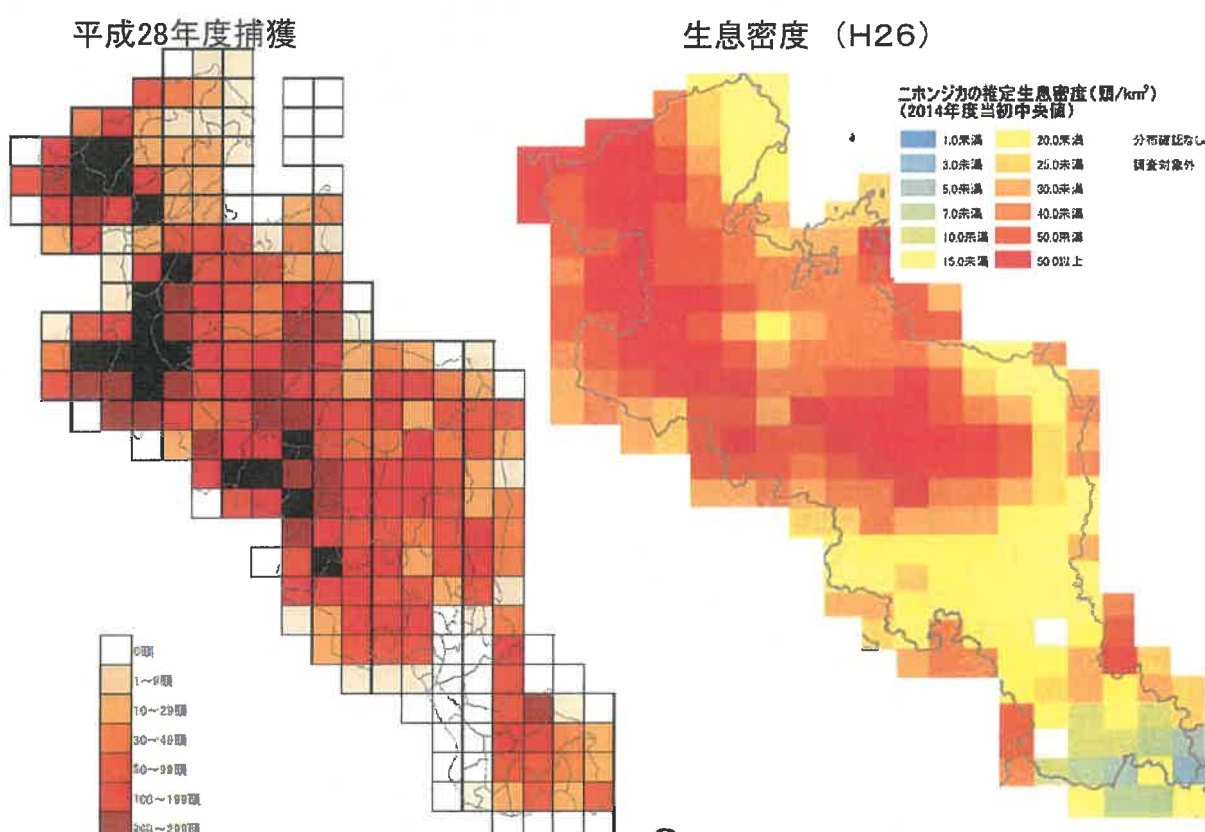
ニホンジカの推定生息密度(頭/km²)
(2014年度当初中央値)

環境省

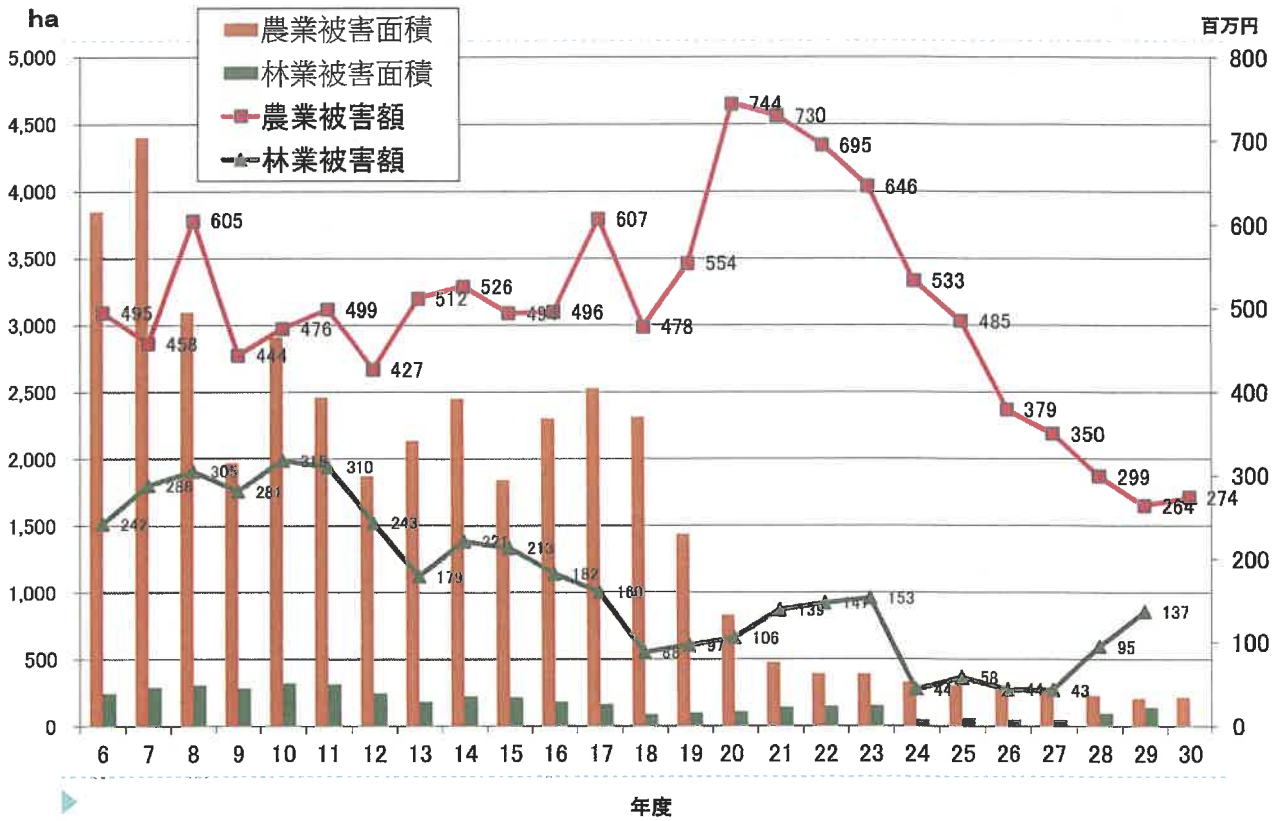


(2014年度)ニホンジカ推定生息密度(頭/km²)

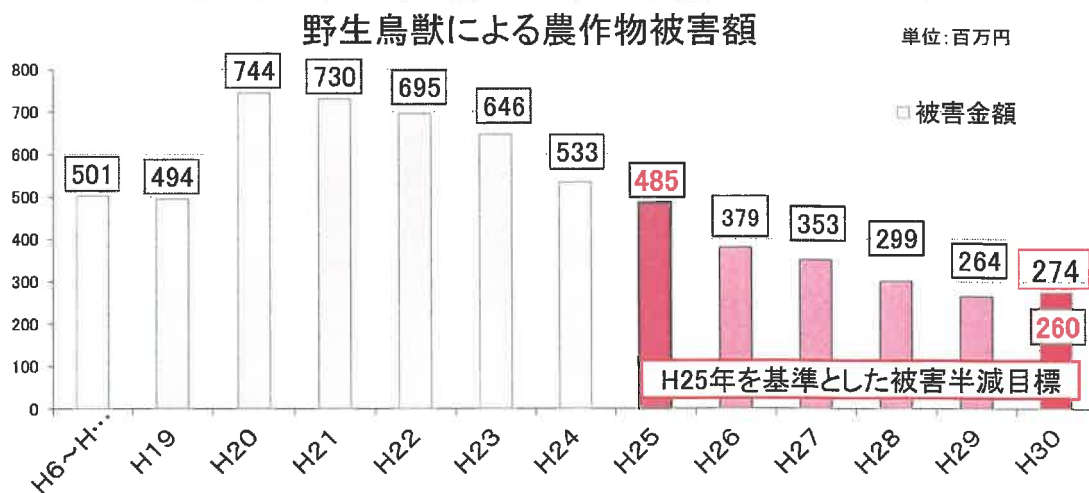
ニホンジカの生息分布



有害鳥獣による農林業被害の推移



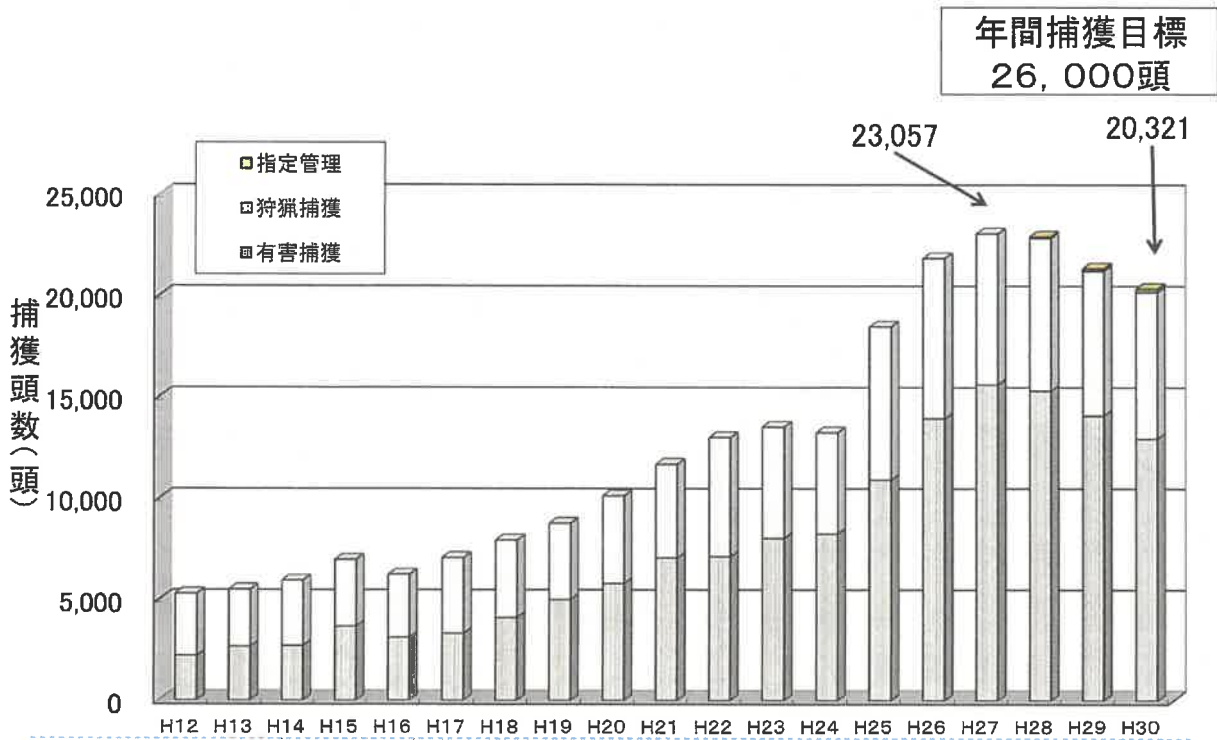
▶ 野生鳥獣による農林業被害の状況



◇ 令和3年度までの新たな目標設定

令和3年度までに
平成27年度農作物被害額を半減させる。
H27: 353百万円 ⇒ 令和3年度: 180百万円

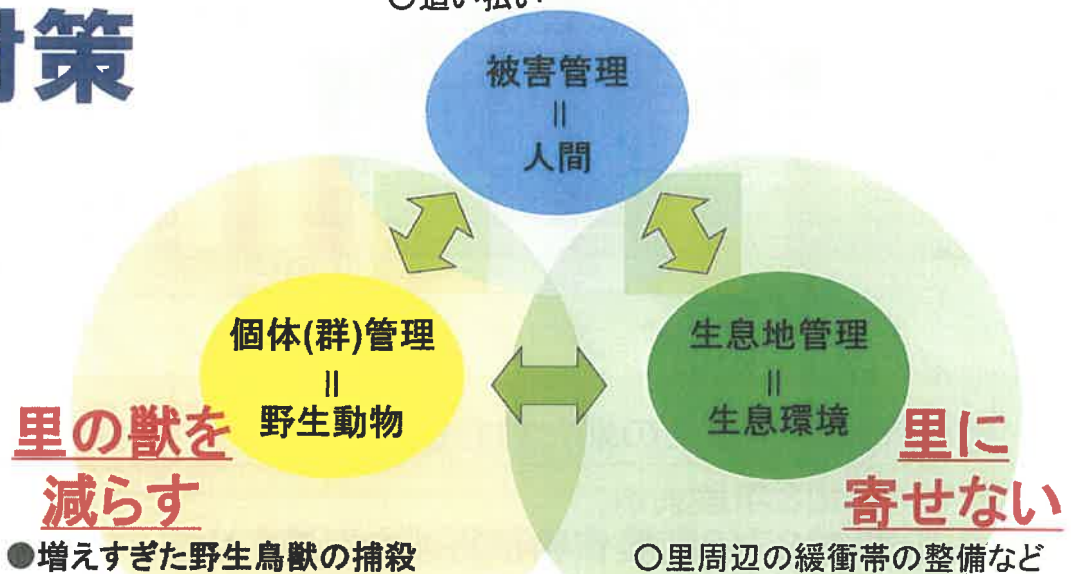
ニホンジカ捕獲実績 (H12~H30)



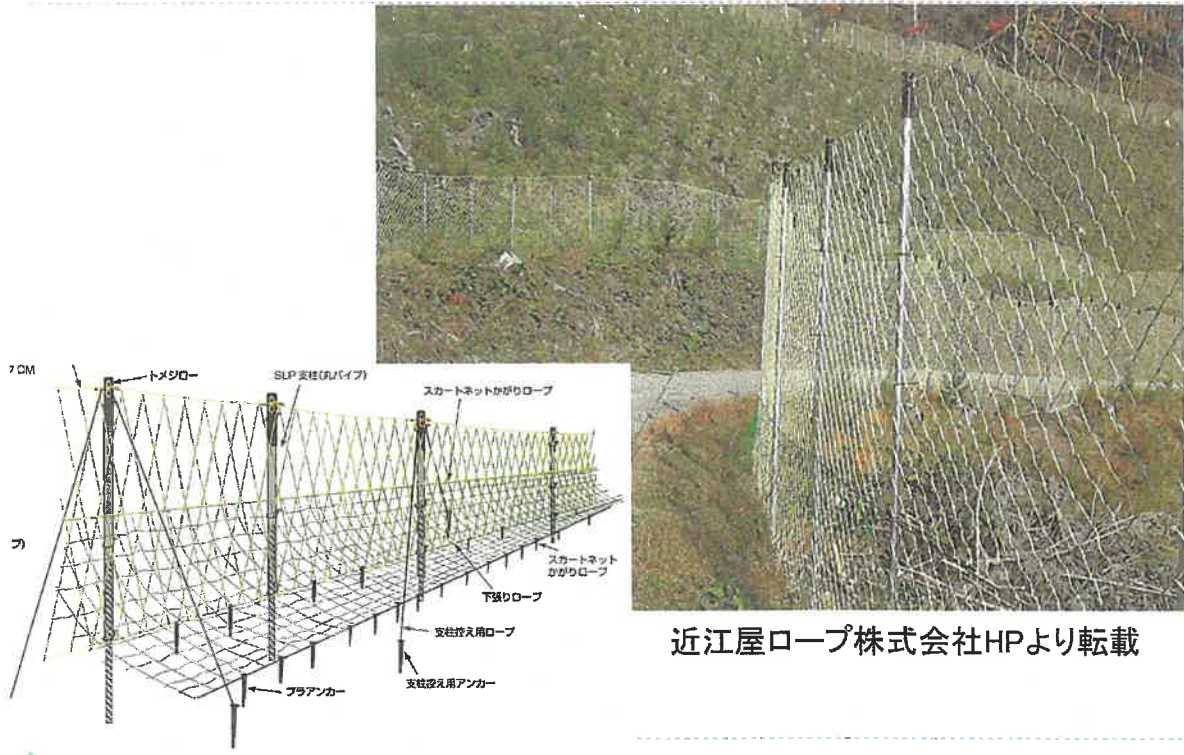
獣害防止

3つの対策

- 防護柵の設置
- 不要残渣・生ゴミの適正処理
- 追い払い



防護柵の設置



近江屋ロープ株式会社HPより転載

▶ 17

幼齢木保護具



大一工業株式会社HPより転載



ハイトカルチャー株式会社HPより転載



▶ 18

幼齡木保護具による保護（治山事業）



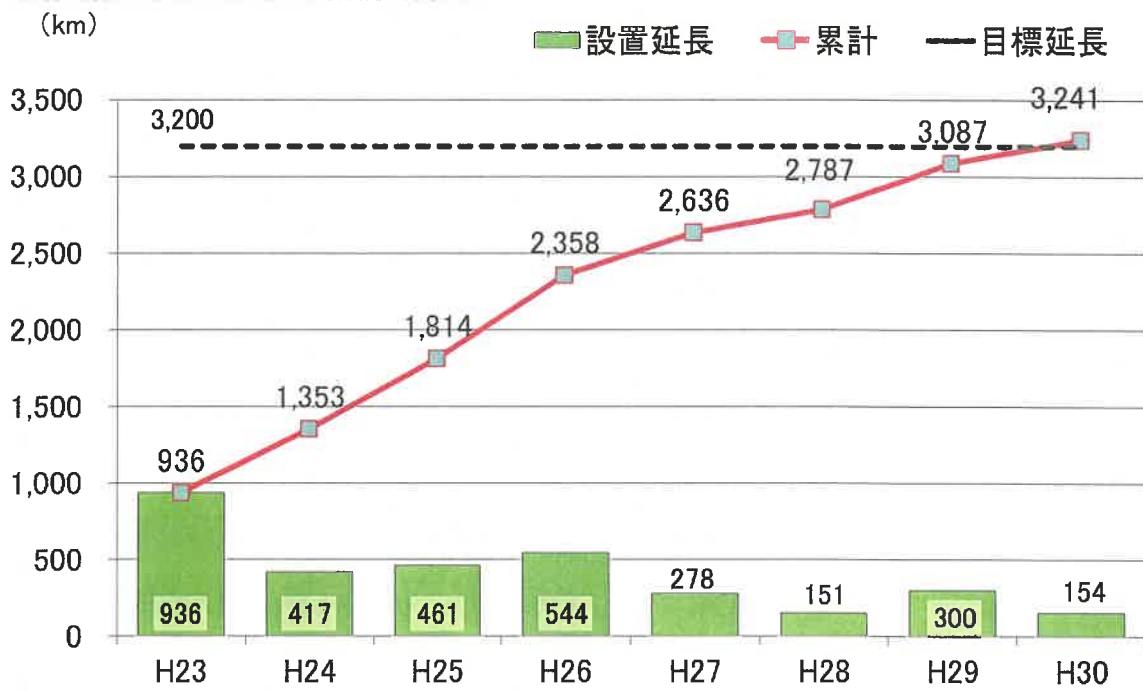
剥皮防止帯



東エコーセン株式会社HPより転載

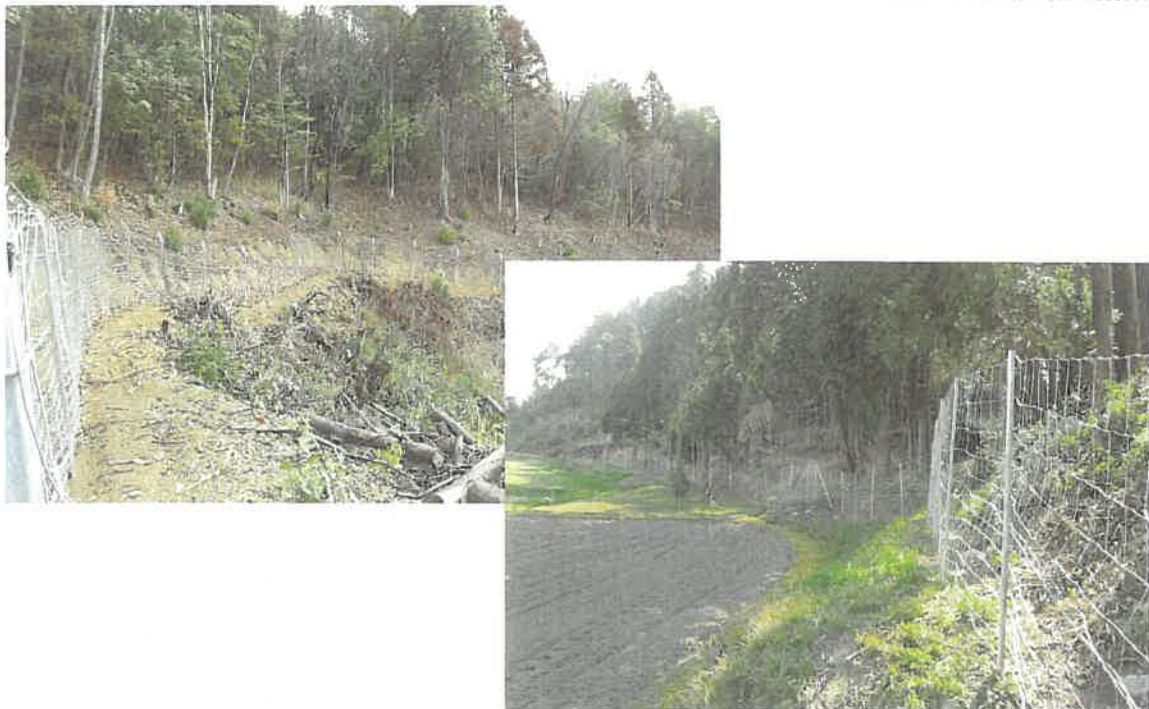


有害鳥獣防護柵設置事業実績



▶ 21

恒久型防護柵の設置



▶ 22

金網柵

特定鳥獣管理計画

【 第二種特定鳥獣管理計画ーニホンジカの目標 】

★適正な生息頭数をめざし、生息数を半減（H27比）

■推定生息数：H27 91,000頭

⇒ R3 45,000頭

※適正生息数：10,000～17,000頭（3～5頭／km²）

■年間捕獲頭数　メス：15,000頭（旧目標12,000頭）

オス：11,000頭（旧目標6,000頭）

▶ 23

捕獲対策の強化

●農林水産省事業

・有害鳥獣捕獲支援：シカ1頭当たり 7,000円～9,000円
市町村によっては、上積み補助

・広域鳥獣捕獲：府が市町村と連携して実施
H21から府県境、市町村を越えて連携した取組を実施
H30までに321回実施（シカ捕獲1,702頭）

●環境省事業

・指定管理鳥獣捕獲等事業：H28～シカ約300頭捕獲
生息密度・被害度合から集中的捕獲が必要な地区で府が実施

●府単費事業

・狩猟シカ捕獲の支援：4～20頭まで
1頭当たりメス5,000円、オス3,000円

・個体処分経費の支援　シカ　1頭当たり2000円

○狩猟捕獲頭数制限の撤廃

○狩猟期延長：～2月15日⇒1ヶ月延長～3月15日まで（シカ・イノシシ）

▶ 24

3 捕獲担い手対策

●新規免許取得者の確保

- 狩猟免許試験 年4回開催、チラシの配布やHPへの掲載
- 若手の狩猟者の確保
農業高校生の関心を高める鳥獣被害対策講習会を開催
京都府立林業大学校、農業大学校での鳥獣対策の授業等
狩猟セミナーの開催

●新規免許取得者を有害鳥獣捕獲員へ育成

- 狩猟インターン講習制度
一人一人に実務を集中して講習し、短期育成を実施
- 新規免許取得者を対象とした講習会の開催

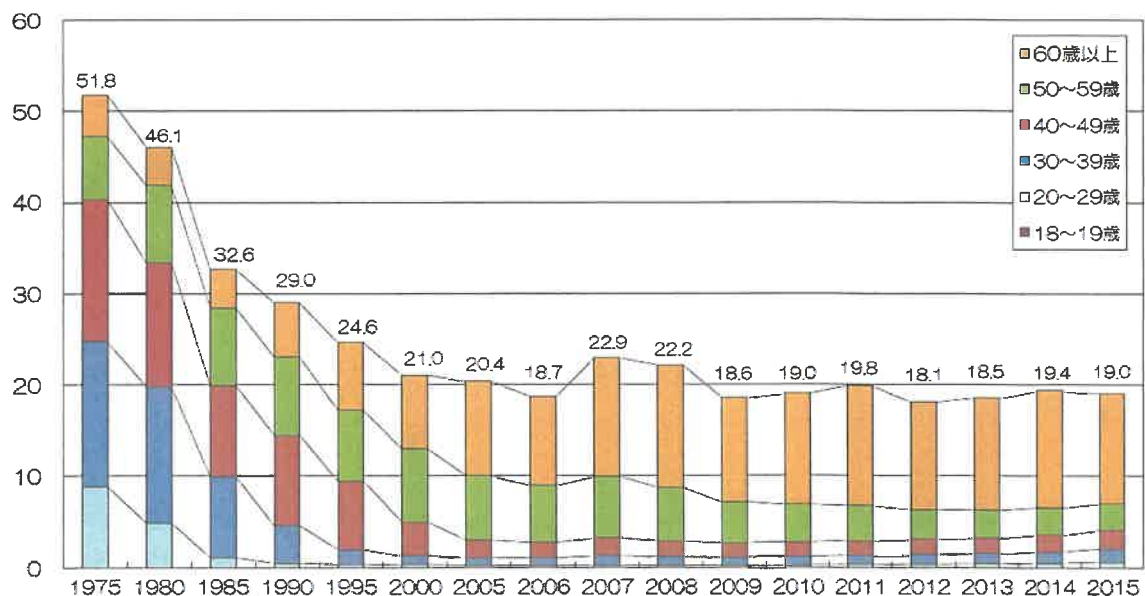
▶ 25

ハンターの減少と高齢化

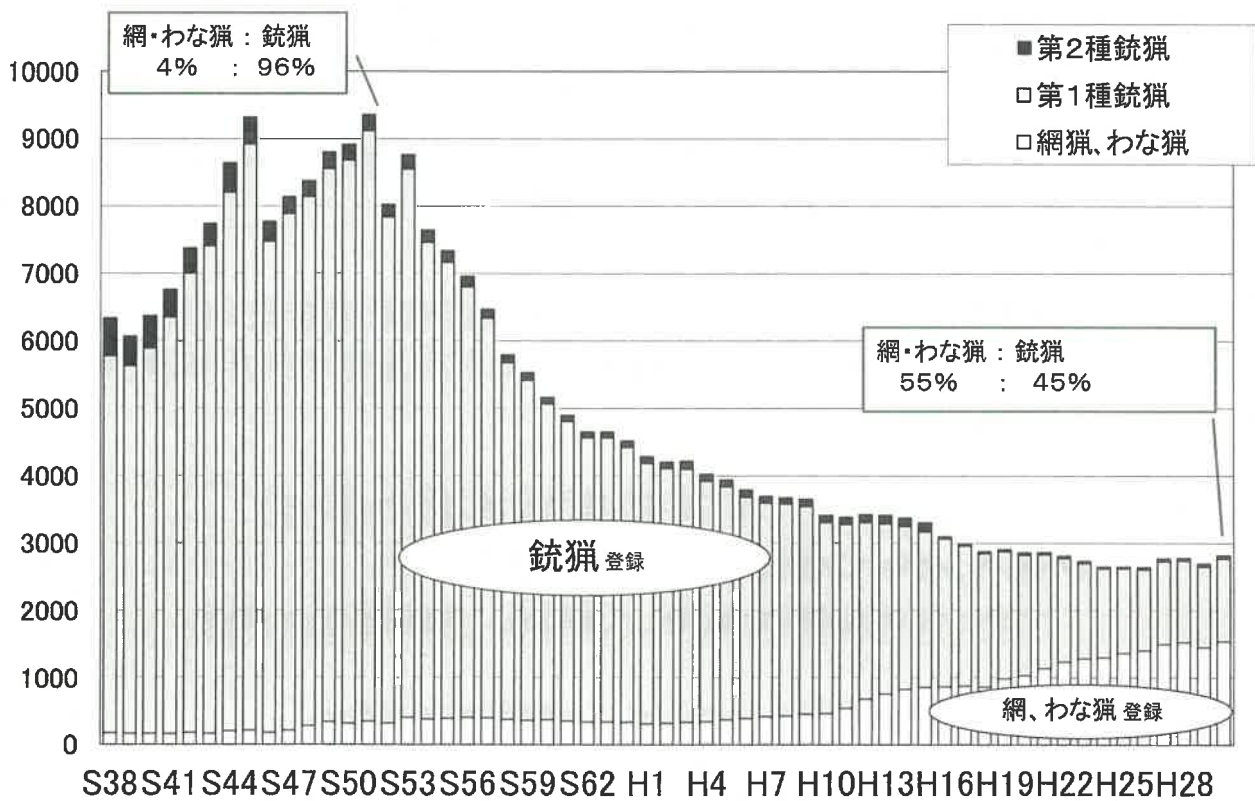
全国の狩猟者数 約53万人(1970年度)

⇒約19万人(2015年度)6割以上減少、60才以上が6割超

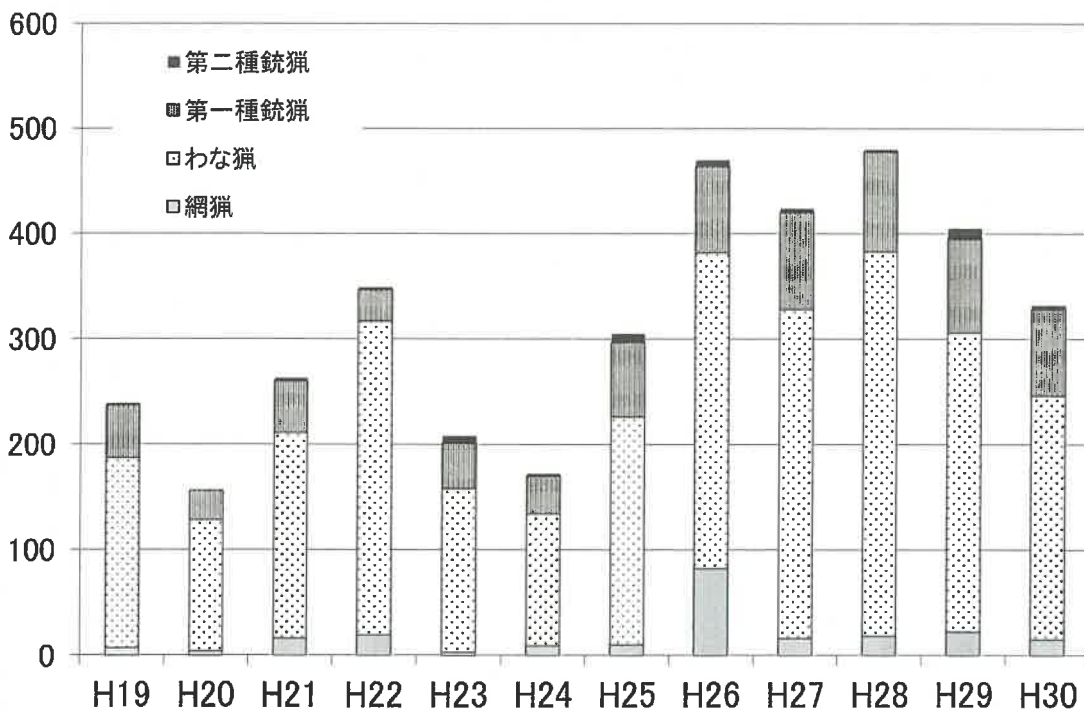
(万人) 全国における狩猟免許所持者数(年齢別)の推移(S50~H27)



狩猟者登録件数の推移



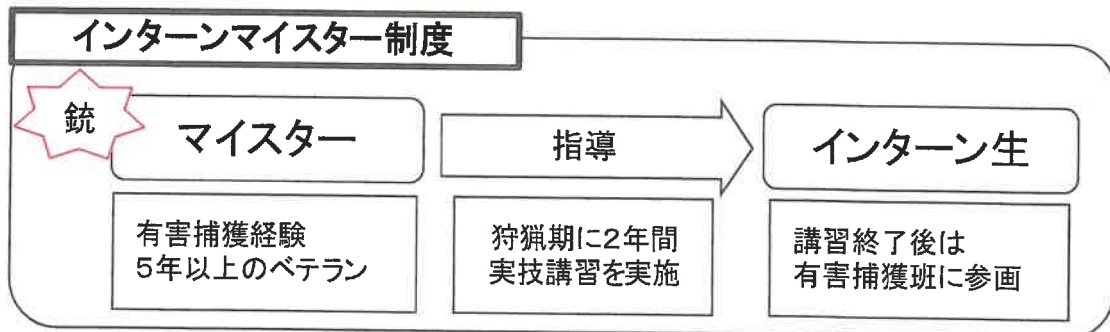
新規狩猟免許取得者の推移



狩猟インターン講習制度

有害鳥獣捕獲班の育成

→研修制度で狩猟者を早期に育成



	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
インターン生	17人	13人	15人	28人	32人	29人	31人	30人
(うち修了者)	(8人)	(10人)	(8人)	(14人)	(19人)	(19人)	(19人)	(12人)